

2020年度 大規模計算機システム 公募型利用制度募集

追加募集



大規模計算機システム 利用負担金免除

サイバーメディアセンターが
全額負担いたします

大阪大学サイバーメディアセンターの大規模計算機システムを最大限活用することで成果・発展が見込まれる研究課題を公募します。

公募型利用制度概要と 応募資格

大阪大学サイバーメディアセンターの大規模計算機システム公募型利用制度は、今後の発展が見込まれる萌芽的な研究課題を募集する
① 若手・女性研究者支援萌芽枠と、大規模計算機システムを最大限活用することで成果が見込まれる研究課題を募集する ② 大規模HPC支援枠から構成されます。また、2020年度は、大規模な計算能力を必要とする人工知能分野の研究支援の観点から、③ 人工知能研究特設支援枠を設けます。本センターの利用資格を有する方は、研究分野問わずご応募いただけます。

① 若手・女性研究者支援萌芽枠



研究代表者が42歳以下(2020年4月1日時点)の若手男性研究者、あるいは、女性研究者(年齢制限を設けない)であること。

② 大規模HPC支援枠



既に並列化済みのプログラムを持ち、並列度を上げて実行する計画があること(年齢、性別の制限はありません)。

③ 人工知能研究特設支援枠



既に人工知能技術を用いたプログラムを持ち、大規模計算機システムで実行する計画があること。

公募型利用制度の支援内容

- 研究課題推進のための大規模計算機システム利用負担金の全額を本センターが負担します。
- 研究課題推進のために本センターの施設(会議室等)を利用できます。
- 大規模HPC支援枠採択課題については、希望により本センターからのプログラムチューニング支援を提供します。
- 本センターで開催する本公募型利用制度の成果報告会の旅費を全額補助します。

利用できる大規模計算機システム

- ベクトル型スーパーコンピュータSX-ACE (282 TFlops)
2020年6月1日から2020年9月30日までの期間利用することができます。
- OCTOPUS(1.463 PFlops)
2020年6月1日から2021年3月31日までの期間利用することができます。

募集課題数

- 若手・女性研究者支援萌芽枠
 - 大規模HPC支援枠
 - 人工知能研究特設支援枠
- 1, 2, 3をあわせて若干数

課題審査

応募された課題申請書の本センターの高性能計算機システム委員会にて審査を行います。応募枠に対する採択基準は下記の通りとします。

- 若手・女性研究者支援萌芽枠
本センターの大規模計算機システムを活用することで今後の発展が期待できる萌芽的テーマであるかどうか / 大規模計算を必要とする課題であるかどうか / 提案計算計画に妥当性があるかどうか / 今後継続的に大規模計算機システムを活用した研究が推進できるかどうか
- 大規模HPC支援枠
本センターの大規模計算機システムを活用することで学術的な意義・インパクトを有する成果導出が見込めるかどうか / 大規模な並列計算を実現できるかどうか / 提案計算計画に妥当性があるかどうか
- 人工知能研究特設支援枠
本センターの大規模計算機システムと人工知能技術をあわせて活用することで学術的な意義・インパクトを有する成果導出が見込めるかどうか / 人工知能技術の大規模計算を必要とする課題であるかどうか / 提案計算計画に妥当性があるかどうか

応募方法及び期間

3月16日～4月17日

課題申請書に必要事項を記入のうえ、以下の送付先までメールにて送信してください。課題申請書は、下記URLからダウンロードしてください。

<http://osku.jp/m0718>

- 送付先: 大阪大学情報推進部情報基盤課研究系システム班
大規模計算機システム担当
E-mail: system@cmc.osaka-u.ac.jp
- 募集開始: 2020年3月16日
- 募集締切: 2020年4月17日(必着)
- 審査結果: 2020年5月中旬に結果を通知予定です。

